

要注意！動力機械のキケン性

動力機械は電気などの動力を利用して材料加工や運搬などを行う機械です。使い方を誤ると大きなケガにつながるため、取り扱いには十分な注意が必要です。動力機械の危険性について確認し、ケガをしないように気をつけましょう。

—— ケガをするのはどのような時？ ——

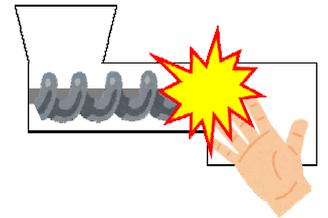
可動部へ手を近づけた時、回転している物に手が触れた時 に起こります。

どのようなケガが起こるのでしょうか？実際に起こった例について確認しましょう。

1. ミンチ機の排出口につまった肉をかき出そうとして・・・



肉を押し出すスクリューに右手指が巻き込まれ、骨折



2. 木材切断機の停止ボタンを押した後、刃の近くに
あった木くずを取り払おうとして・・・



惰性で回転する刃に右手が接触、神経を損傷

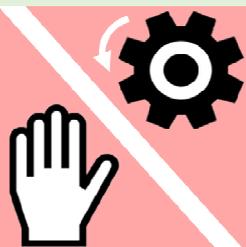


—— ケガをしないために必要なこと ——

作業ルールの遵守徹底



**可動部に
手を近づけない**



**回転している物に
手を触れない**

危険を感じた時は要相談

- 可動部がむき出しになっている
 - 非常停止ボタンが近くにない
 - 作業中ケガをしそうになった
- など、少しでも危険を感じた時は現場担当者またはトーコーの担当者に相談しましょう。

異常時は作業を止めて、現場担当者を呼び、指示を待ちましょう。